

幼稚園・学校番号	1509413
施設名(園名等)	上ノ原幼稚園

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

年中4歳児

うさぎ組

担任(教諭名): 近藤 芳

## 1. 活動のテーマ

<テーマ> (タイトル)

木育 ②「木で作ることを楽しもう！」

### テーマの設定理由

花や葉、実、種、木など、園内でさまざまな自然の素材に興味を持ち、遊びに取り入れている子どもたちの姿が見られるため、本テーマを設定した。年齢、学年に見合った体験を通して、自然物に触れる面白さ、不思議さを感じることを目的とする。木工工作や花壇づくりを通し、日常的に木や木材に触れ、園生活が自然と調和していく喜びを味わうことを目指す。子どもとともに木のいのちに触れながら園庭環境を創り上げていくことのできる余地や可能性を生かす。

## 2. 活動スケジュール (活動の流れ)

- 9月の「木育ワークショップ」を通して、木に触れたり、匂いを感じたりする。(パズル作り)
- ワークショップで使用した木材・端材を日常保育でも用意し、遊びに取り入れる。
- 保育室内に、木材で遊べるコーナーを設定する。
  - ・最初は、三角や四角などイメージが付きやすいものを置く。
  - ・子どもの創作の様子に応じて、様々な形の木材を用意する。
- 子どもたちに生命としての木の大切さを伝えていき、自分たちの身の回りにはどんなものが木で作られているのか考え、気づき、意見し合う。

## 3. 探究活動の実践

<活動の内容>

・活動のために準備した道具、環境の設定>

- ・木育ワークショップ (パズルづくり…薄く輪切りにした木材、ポスカなど)
- ・保育室内で木材を用いて工作ができるコーナー
- ・何種類かの形の木材、絵の具、木の実
- ・ボンド、グルーガン、ポスカ、絵の具

・活動中の子どもの姿・声、子ども同士や教諭との関わり 等を記載

- ・木育ワークショップでは、木に触れようとし、その感触を楽しんでいた。またパズル作りの中で、トンカチを使って木を割る経験を通して、木の硬さを感じていた。自分たちで作ったパズルは特別なものとなり、その後も友だちとともに交換して遊ぶ姿があった。
- ・最初は、一緒に遊んでいく中で、保育者がボンドで木をつけたり、色を塗ったりしてモデルを提示した。徐々に子どもたちも木材の扱い方を知り、自分たちの好きなように遊んでいいということを知っていった。クラスのほとんどの子どもたちが興味をもって関わっていた。
- ・木材をやすりがけすることによって、出てくる木の匂いを感じていた。「この木は何の木なんだろうね?」「どこから来たんだろう?」と友だち同士で考え、話す姿があった。
- ・木材だけではなく、木の実やペン・絵の具などの道具や素材を増やしていくことによって、子どもたちの発想がより豊かになっていった。自分が今好きなものや、興味のあるものをどうすれば作ることができるのか、ということを考える力が育まれている。
- ・木材で遊び始めてから、木が生長したのち、自分たちの生活にも多く関わっているということを保育者から伝えていった。子どもたちが、自分たちの周りにある物の中で、「木から出来ているものは何か」を考えるきっかけとなった。また、保育者が言わずとも、何が木で出来ているのかを理解している子どももいた。この話を通して、周りの物をもっと大切に扱おうという意識が高まった。

## 木育ワークショップ



## 木工工作



## 4. 振り返り

### <振り返りによって得た、教諭の気づき>

- ・木育ワークショップで初めて木に触れ、匂いを嗅ぐ経験をし、実際に五感を働かせることによって素材や生命としての木への興味関心が深まった。
- ・子どもたちは木に触る・匂いを感じるなどして木材に親しみを持っていった。
- ・木材を使って、自分たちの好きなように遊びに取り入れてよいことを知った。しかし、同時に木の大切さを知ったことで、自分の好き勝手に扱う子どもはおらず、一つひとつの木材を大切に扱い、しっかりと目的を考えて遊びに用いている姿があった。
- ・園では、もともと空き箱の工作を楽しんでいたが、素材が異なることでまた違う楽しみがあった。空き箱はある程度形が整っているが、木はほぼ同じ形がないため、組み合わせるのが難しい部分もあった。その気づきから、試行錯誤して作り上げたり、どうやったら木同士がくっつくかを子どもたち自身で考えたりする力がついている。
- ・園の環境や備品の中でも多く用いられている「木材」という素材を扱ったことにより、自分たちの身の周りのあらゆる物に意識を向け、何が木でできているかを考えるきっかけとなった。子どもたち自身がある程度をもってはいたが、木にも命があるということを伝えると、「大切に扱うものなんだ」ということを意識して生活するようになった。